

令和6年度 第1回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会概要

開 催 日 令和6年5月20日（月）

出席委員 岩動委員長、田中副委員長、真壁委員、草委員、本郷委員

議 事 令和5年度区民協働まちづくり事業企画事業の事後評価

【事業報告】

区民協働まちづくり事業に関する要綱（平成14年3月25日市長決裁）第6条第2項第2号の規定に基づき、令和5年度企画事業実施団体より実績報告書の通り報告。

【質疑応答】 [Q：質問 A：回答]

・将監沼ふれあい事業

Q：総務費の使途は何か。

A：会議資料の印刷費用やチラシ作成代に使用。

Q：桜の高齢化、特に病気対策とあるが、現状は？

A：病気については割合としては少ない。

森林アドバイザーに等専門の方に指導してもらい参考にしながら進めていきたい。

Q：次世代につなげていくとあるが、検討はしているのか

A：検討はしているが、具体案や時期についての詳細は現段階では決まっていない。

Q：会員数は？

A：正会員118名、準会員223名

Q：今後地域の子どもたちに参加してもらえるか？

A：将監市民センターに児童センターが併設され、親子に参加してもらえるような環境が整いつつある。また、PTAや将監西小学校等の課外授業として取り入れてもらえるよう働きかけていく。

・いずみ朝市

Q：出店店舗の減少とあるが、出店料の値上げをすると厳しいのではないか？

A：現状として致し方ない。出店の声がけについて引き続き行っていく。

Q：若い方でいくつ？

A：40代くらい。

Q：出店者は泉区限定？仙台全域にしないのか？

A：当初は泉区限定だったが現在は泉区外でも出店可能としている。

Q：出店料はいくらか？

A：使用面積により、1回につき800円～2,400円としている。

・嶺岸農園のトマトが美味しく、今後ともぜひとも続けてほしい。

・ニュースポーツフェスティバル

Q：暑さ対策として、参加申込を予約制にすることはできるのか？

A：オペレーション等を確認しながら実行委員会の中で検討していく。

Q：世代を超えた交流づくりが目標とあるが、大規模なイベントもいいが町内会単位など各地区での展開を検討しても良いのではないか。

A：本委員会は3団体が共同で行っており、地域で行っているイベントもある。ニュースポーツについてはあくまでふるさとまつり内のイベントとして扱っている。

・泉ヶ岳利活用推進事業

Q：会員の高齢化について、「見守る」とは？

A：9団体が集まっているが各団体の個々の事情があるため、事務局主導での対策は行っていない。

Q：若手の参画については？

A：少しずつ加入はしているようだが、数としては少ない。日中働いており参加する機会が少ないため、意見を出すなどは難しいと思われる。

・泉中央美化推進事業

Q：ユアテックスタジアム横の法面の花文字が見えにくい。維持管理の費用等を考えると、今度の実施については検討する必要があるのではないか。スタジアム横ということもあり、ベガルタ仙台に因んだものにするのはどうか。

A：花文字が見えにくい点については問題視している。ベガルタ仙台に因んだものについての意見も参考にさせていただきたい。

Q：ベガルタロードの花について、ベガルタ仙台から助成は出ているのか？

A：ベガルタ仙台からの助成は出ていない。ジュニアやマイナビに花植えの協力はしてもらっている。

Q：すいせん通りに植える花はすいせんを使用しないのか。また、水やり作業についてはどのように行っているのか。

A：予算内で買うことができる比較的育てやすい花を準備している。水やりについては、小学校や地域の方に協力を呼び掛けている。

・いずみのふるさと学事業

Q：サポーター会の会員は何名いるのか。何名程度いると活動しやすいか。また、研修会の広報の強化してほしい。

A：12名。20名程度いると活動しやすい。広報活動や、研修会を開くことで次世代につなげるための活動をしている。

Q：事務局負担が多いように感じられるが？

A：資料作成について、内容はサポーター会が作成し、とりまとめや資料作成については事務局が行うなど分担している。

Q：サポーターが高齢化しているとあるが、今後デジタルコンテンツを活用するのはどうか？

A：データの販売を行っている（CD-ROM）。

Q：会員の高齢化とあるが年齢構成はどうなっているのか。

A：60代～80代となっている。平均としては70代後半。

Q：決算額について、余っているようだがその理由は？

A：探訪会の開催が3回予定のところ実施が1回だったこと、また、資料印刷の増刷がなかったため。

・泉区民文化祭

Q：他区は行っているのか？泉区で始まった経緯は？

A：他区は行っていない。泉市時代に設立されて文化祭が始まった。

Q：市民センター祭りもあるが、泉区では2つの発表の場があるような状況か。

A：市民センター祭りは地域の中の団体が発表する場というイメージ。文化祭では会のメンバーの半数が泉区民であれば参加できるようになっている。

・泉区民ふるさとまつり

Q：猛暑のため、駅前のアリオが涼むのによい休憩所となっていた。

閉店してしまったため、休憩所の代替場所を考える必要があるのでは？

A：毎年のことではあるが緑化ホールや体育館を準備している。他にも候補があるか今後検討していく。

Q：ふるさとまつり人気の理由とは？

A：地下鉄の本数を増やしてもらうなどの対応をしており、泉区以外からの来場者も多いと思う。また、日程的にも仙台市での夏の最後の思い出となるようなイベントとなっていると思われる。

・令和6年からの新しい取り組みとして、花火の「有料観覧席」をぜひ成功させてほしい。

・七北田川クリーン運動

Q：ごみを探すほうが大変で、ゴミ袋がもったいないように感じる。また、協賛品も毎年同じもので、あまり活用されている様子がないため、不要ではないか？

A：協賛先の宮城テレビからアユの提供をいただいている経緯がある。協賛品については今後相談する。

Q: アユは放流したら遡上すると思うが、どれくらい戻っているかなど調べているのか。

A: 平成 30 年頃に調べた経緯があり、七北田川には魚道がなく遡上できないのが現状である。ふもとには遡上していると聞いている。

・ 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル事業

Q: 旧青年自然の家跡地の駐車場の誘導については、混乱が生じないように検討の余地がある。

A: 上記駐車場は令和 5 年度から使用することとしたため、実際に警備に当たった方に状況を確認する等よりよい方法を検討していきたい。

Q: 市民会議は参加しているのか？イベント内で新規会員募集を行うのはどうか。

A: 市民会議は子ども向けのスタンプラリーや活動展示を行っている。いただいたご意見について今後検討していく。

・ 区民意識普及啓発事業

Q: 写真コンの応募状況は？

A: 年々徐々に減少している。リピーターが多い。

Q: 減少しているとあるが対策とは？

A: 周知は年々増やしている。

泉大沢イオンや泉区役所工事の仮囲い等を用いて周知を続けていく。

Q: 東北ブロック大会はどのような効果があると想定できるのか？

A: 自治体同士の情報交換の場・アドバイザーによる研修の場となっている。

・ 大学連携地域づくり事業

Q: 大学生はコロナ期間（学校に通えない等）つらい思いをしていたと思うが、コロナの前後で何か変わったことはあるか？

A: 地域に直接入って活動をする機会が増えている印象である。

Q: 助成金は全部支出しているのか？財源は何か？

A: 予算額を全て支出している。一般財源である。

Q: 学院が移転した分を補填するためにも新しい企画が必要では？

A: 今後検討していく。

・ 青少年健全育成事業

Q: 標語コンクールの参加校が 1/3 となっている。学校との連携が必要では？

また、作品集の DVD は必要？

A: 参加については学校にとりまとめをお願いしていたが、コロナ以降は教員の負担軽減のためとりまとめを行わなくなった。チラシに申込用の QR コードを掲載するなど

の周知は行っている。DVD は協賛先の J:COM が作成しているところだが、授業で活用してほしいということでお渡ししている

Q：内容がすばらしいため、J：COM の放送だけでなく YouTube 等活用するのはどうか。

A：今後検討していく。

Q：震災の記憶（向陽台小・虹の丘小）の開催の経緯とは？

A：以前は「戦争」をテーマとした講和を行っていたが、令和4年度は応募が0となり、テーマを「命の大切さ」に変更したところ、応募があったもの。

・地域子育て交流会

Q：10年前とは子育ての環境が変化しているため、変化に沿った運営をしてはどうか。

また、泉区社会福祉協議会との連携は行っているのか。

A：子育てサロンを行っている地域の社協とは繋がりがあるが、社協本部とは連携していない。今後検討していく。